

例題 6

助教授 濱本 正太郎

shotaro@rokkodai.kobe-u.ac.jp

5月17日までに e-mail で届いた答案は添削してお返しします。添付ファイルでなく、本文に答案を書いてください。

以下は、2002年1月30日の朝日新聞の記事である。

* * *

【カイロ30日 = 小森保良】国営イラン通信によると、イランのハラジ外相は30日、ブッシュ米大統領が一般教書演説で、大量破壊兵器の開発で米国に脅威を与えている「テロ支援国家」として、イランを名指ししたことについて、「内政干渉だ」と非難した。

外相はさらに「演説はごう慢であり、中東の問題から目をそらし、パレスチナ人を抑圧するイスラエルを支え続けるための世論形成を狙っている」と批判した。

米国とイランは昨年9月の同時多発テロ直後、ハタミ大統領が米国民への哀悼とテロ非難の声明を出すなどして関係改善の兆しがみえた。

しかしその後、米国がパレスチナ武器密輸事件への関与をめぐってイランを強く非難。また、オサマ・ビンラディン氏率いる武装組織アルカイダの活動家がアフガニスタンからイランに越境していると指摘した。

イランはこれらを否定したうえで、「米国のイラン敵視政策」として反発を強めていた。さらに、レバノン南部でイスラエルへの武装闘争を続けるイスラム教シーア派ヒズボラへの支援をめぐって、両国の溝が広がっていた。

* * *

問 ブッシュ大統領がイランを「悪の枢軸」国家として批判したことは、国際法上違法な干渉であるか。

注 「一般教書演説」の関連部分は、5月7日の講義で配布した「資料2」の末尾に引用してある。